

令和8年度 帰国生入学試験
帰国生① 入学試験問題

国語

注意

1. 答えは解答用紙のきめられたところに書きなさい。
解答らんをまちがえると、得点になりません。
2. 解答用紙に受験番号を書きなさい。
3. 試験時間は50分です。

昭和学院中学校

一次の文章を読み、後の問いに答えなさい。なお、出題の都合上、表記を変えたところがあります。

※句読点や記号も一字分とする

誰でも、「面白い」といって、手を叩いて笑ったことがあるはずである。面白いものを見たり聞いたりすれば、自然に笑えてくる。ア、そのときのコンディションに大きく左右される。同じ対象に触れても、笑える気分のときと、全然そうではない気分のときがあるものだ。大きな悩みを抱えていたり、深刻な問題が目の前に迫っていたら、ちよつとやそつとのこ

とでは笑えない。

また、それ以前に、可笑しさには、ある程度の理解が前提となり、理解するためには、相応の知性が必要だ。イ、知性ではなく、その文化の体験が必要な場合もある。ギャグで笑う場合にも、そのギャグの言葉が通じなければわからない場合もあるし、また、その異様さを感じるためには、常識を知らなければならない。

結局、笑いというのは、現実と理想のちよつとしたズレに生まれるものである。こうあるべきだという想定とは違う現実を目の当たりにして、つい笑ってしまう。しかし、まったく同じものを見ても、笑う人と、笑わない人がいるし、逆に怒りだす人だっているから、誰にでも通用するような「可笑しさ」というものは、まず存在しない、と考えても良いだろう。

言葉が通じない赤子を笑わせるには、「いないいないばあ」のような、ある種の「変化」が必要みたいだ。ほとんどの文化圏で、これが共通している。赤子は、今あるものが、別のものになるさまに興味を示す。このよ

うに「変化」に注目するのは、動物の本能に起因するのだろう。

興味を示すだけなら、注目して目を見開く程度の反応だが、「変化」が繰り返されると、どうなるか予想がつくようになり、自分が思っていた通りの変化が起きるのを見て、面白く感じ、笑うようになる。

しかし、少し成長した子供に向かって同じ「いないいないばあ」をしても、笑わせることはできない。もう面白くなくなっているのだ。つまり、「面白さ」は、経験を重ねることで面白くなる。最初の繰返しでは、予想することを覚え、そのとおりになるから笑えたのだが、成長したあとは、経験の繰返しによって、「意外性」がなくなって厭きてしまう、ということである。

芸人が繰り出すギャグなども、一世を風靡したものが沢山あって、日本人たちがそのギャグで笑ったのに、一年もしないうちに誰も笑わなくなる。見ても、ただ懐かしいと感じるだけで、もう笑えない。ギャグというのは、短命なものだ。

ギャグだけではない。漫才のネタなども、一度知ってしまうと、最初はどう笑えなくなる。やはり、ウが消えてしまうからだ。

大人になって、可笑しさのベテランになるほど、A簡単に笑わなくなる。若者ほど、大笑いするのは、経験したことがない「面白さ」のためであり、初めてのものには、免疫ができていないからだ。いうなれば、笑わない防御ができていない、ということでもある。

べつに、笑うことは恥ずかしいことでもないのに、何故かそういった免疫を自然に作ってしまうのは、笑うことは「弛緩」であるためだろう。緊張の反対の状態は、自然界では無防備で危険な状況である。笑うことで隙

ができて、攻撃を受けやすくなる。だから、笑わないように防御をするようにできているのではないだろうか。

(中略)

人を笑わせるものには、B意外なものと期待どおりのものがある、と既書いたが、この一見反対の傾向のものが笑えるのは、どうしてなのだろうか？

意外性とは、期待を裏切るものであり、待っているところへボールが来なかった、その「ズレ」や「ギャップ」が「可笑しさ」を誘発する。おそらく、そこで、小さな驚きがあり、はっとなって喚起される思考がある。それが可笑しく感じられるのだろう。

また、逆に、期待どおりのものが出現することでも、人は笑う。これは、赤子が「Cいないいないばあ」で笑うのと同様に、出るぞ出るぞ、と待っている緊張感からの解放に起因しているものだし、はっとさせられることでは、「意外性」と似ている。

また、見たこともないものに出会ったときにも、可笑しくなることがある。不可解なものだったり、意味がわからないことでも、人は笑う。意外性といってしまえば同じであるが、やはり、「何だろう？」という注目が直前にある、という共通点がある。

珍しいもの、得体の知れないものには、まず注目し、緊張する。これは動物の本能だ。ところが、それが無意味なもの、無害なもの、自分に対して攻撃してこないものだとなれば、そこで緊張から解放されて、笑いが生じる。

ユニークなもので笑えるのも、この部類だろう。ユニークとは、個性的

なことだが、独特、あるいは比類のないことを意味する。珍しいものは、誰にとっても意外なものである。興味を引くことで緊張を誘い、無害だとわかれば、解放感で思わず笑みがこぼれる、というメカニズムと考えられる。

「待っているところへボールが来なかった」と書いたが、まったく取れないというような大暴投では笑えない。あまりに外れすぎていると、驚きや呆れが大きくなり、あるときは嫌悪感も抱いてしまうから、笑うことができない。

笑いを誘うギャップとは、「適度なズレ」であることが一つの条件といえる。この微妙な手加減ができる人が、人を笑わせる名手となる。ただ、受け手によって、このズレがどれくらいまで許容できるのか、が異なっているの、相手を見て、合わせる必要があるだろう。このあたりが、D「可笑しさ」を作ることの一番の難しさになる。

「E微妙」という言葉は、もともとは褒め称える表現だった。今は、「今一つ」という意味で、残念な印象を伝えるときに使う場合が増えている。可笑しさのズレというのは、本来「微妙」なものだった。加減をし、適度にずれているものが一番面白い。その僅かさが、最大の「面白さ」を生んだのである。

したがって、「可笑しさ」は、このズレ加減を常に意識し、不足ではないが、過剰でもないけない、という範囲を目指す意識が必要だろう。

(森博嗣『面白いとは何か？ 面白く生きるには？』より)

(注) ※本文中の漢字については、学習指導要領における小学生の配当以外の難しい漢字にはふりがなをふっています。

問一 空らん **ア**、**イ** にあてはまる言葉として最も適当なものを、

次の1～6のうちからそれぞれ一つずつ選びなさい。

- 1 一方 2 例えば 3 つまり 4 なぜなら
- 5 たとえ 6 ただし

問二 空らん **ウ** にあてはまる言葉として最も適当なものを、次の1～

4のうちから一つ選びなさい。

- 1 興味 2 変化 3 面白さ 4 意外性

問三 —線部A「簡単に笑わなくなる」ことの説明として**適当でないもの**を、次の1～4のうちから一つ選びなさい。

- 1 人が笑うのは経験したことのない面白さに対してであり、経験を積むと免疫ができてしまうから。
- 2 笑いは無防備になる恥ずかしいことなので、人は自然に免疫を作って笑わないようにするから。
- 3 笑うことは緊張がゆるむことになり、攻撃を受けやすい状態となるため、笑いを防ごうとするから。
- 4 笑いは緊張の反対の状態で、隙ができると危険にさらされやすくなるため、できるだけ笑わないようにするから。

問四 —線部B「意外なものと期待どおりのもの」とありますが、この二

つの共通点として最も適当なものを、次の1～4のうちから一つ選びなさい。

- 1 「ズレ」や「ギャップ」があること。
- 2 不可解なものであること。
- 3 無害なものであること。
- 4 緊張からの解放感があること。

問五 —線部C「いないいないばあ」で赤子が笑うのはなぜですか。その理由が書かれている一文を、—線部Cがある形式段落より前から探し、初めの五字を抜き出しなさい。

問六 —線部D『可笑しさ』を作ることの一番の難しさ」とありますが、どのような点が難しいのですか。六十字以内で答えなさい。

問七 —線部E「微妙」と同じように、良い意味と悪い意味の両方の意味を持つ言葉を、次の1～4のうちから一つ選びなさい。

- 1 おろそか 2 適当 3 無造作 4 なげやり

問八 本文の説明として最も適当なものを、次の1～4のうちから一つ選
びなさい。

- 1 その時の気分によって変化する笑いの難しさに着目し、笑わせるコ
ツを伝授している。
- 2 笑いにもいくつかの種類があることに着目し、「可笑しさ」が長く受
け入れられる方法について考察している。
- 3 面白さの中でも特に「可笑しさ」に着目し、笑いが起こるメカニズ
ムについて解説している。
- 4 人間の成長によって笑いの質に変化が生じることに着目し、その
時々で何が面白いのかを説明している。

二 次の文章は、佐藤^{さとう}まどか『アップサイクル！ぼくらの明日のために』
の一節である。中学生の「丈」^{じょう}「紫月」^{しづき}「王ちゃん」^{ワン}は、「アップサイク
ルビジネス」をテーマに夏休みのグループ研究を行っていた。ある日、
図書館で活動していた際、だれかに研究のデータの入ったタブレットが
盗^{ぬす}まれてしまった。三人は、犯人をその場にいた同級生の「清水」^{しみず}であ
ると疑い、「清水」の自宅に行き、問いつめようとしている。これに続く
文章を読み、後の問いに答えなさい。なお、出題の都合上、表記を変え
たところがあります。

※句読点や記号も一字分とする

五〇五号室の前で、紫月がのぞき窓に思いっきり顔を近づけて、手でふ
たりに合図をした。男子ふたりは紫月の後ろに待機。紫月が手をのぼして
ブザーを押^おす。

しばらくすると、ガチャツと音がして、ドアが開いた。

「よお紫月」

「どうもー」

と、紫月が玄関^{げんかん}に入った瞬間^{しゅんかん}に、後ろから男子ふたりがするりと中に入っ
た。

「てめえら！ 勝手に人んちに入ってんじゃねえぞ！ 紫月、オレをだま
したな？」

清水が丈と王ちゃんを押しだそうとしたが、逆にふたりにつきとばされ
てよろめいた。

「おまえさ、A人のデータを勝手に盗んどいてよくいうよな」

丈があきれ顔で清水をにらみつけた。

「データだと？ バカいってんな。おい、稔、警察を呼べつ。こいつら住居侵入罪だ！」

奥から弟がスマホを手に出てきた。

「警察を呼ぶの？」

「そうだ、呼べ。早く！」

兄とちがつて、成績が六年生のぶっちぎりトップだという神童が、数歩後ろにひかえている。

「ほお」

B 丈が腕を組んでニヤニヤした。

「呼べるものなら呼んでみろよ、清水。ヤバいのはそっちだろ？」

「はあ？ おまえがなにいつてんのか、わかんねーよ」

王ちゃんは丈を押しつけて一歩前に出た。

「清水くん、ぼくのタブレットを盗んで、データをコピーして、元データを削除したんでしょう？」

「してねーよ！」

今度は紫月が王ちゃんと丈を押しつけて前に出た。

「こら、証拠は上がってるんだ。はけ！」

清水を指さしたあと、紫月が小さな声でつぶやく。

「ああ、これ、一度いつてみたかったんだよね」

C 清水は眉間にしわをよせた。

「なんのことだ？」

「とぼけるなよ、清水。警官と図書館にたのんで、セキュリティカメラの

映像を見せてもらったのさ。あの日……」

急に後ろから弟が近づいてきて、丈をどん、とドアに向かって押した。「いてっ。なにすんだよ。きみには関係ないから引っこんでろよ」

「あんたら、セキュリティカメラの映像を見たんだろ？ だったら犯人がだれかわかってるはずだろ？ それともなに、もしかして、ただのおどし？ とにかく、アニキじゃない。ぼくだよ。ぼくが盗んで、データを処理していた」

D 三人は絶句状態で、小柄な清水稔を見つめる。

「おい、稔、なにいつてんだ？ おまえ」

兄に背中をつかれて、稔はふりかえる。

「アニキ、丈のこと、いつもムカついてたじゃん。親友だったのに裏切られたとかって。だからぼくが仕返ししてやろうと思ってさ。こいつらの『アップサイクル・コネクション』ってのがすごくイケてるからさ、ちよつとアイディアをもらったってだけ。べつにタブレットも盗んでないよ。借りただけ。ほんの三十分くらいね。けど、この人マヌケだよ。アホみたい。にパスワード0000なんかもん。笑っちゃったよ」

「稔！ じゃあ、おまえが思いついた最高のアイディアっていつてたのはウソかよ！」

兄が弟の肩をがっしりつかんだ。

「うん、ウソだよ。でも心配しないで。先生には、パクられたっていえばいいさ。それにファイルは全部ぼくがもらっといた。アプリのデモもううちのPCにダウンロードしたから、再現して学校でプレゼンできるよ。こっちが先っていう証拠があるから心配ないよ」

弟は兄の手をふりほじめて、ニヤツと笑って三人を見た。

丈たちがあわてふためいた。

「どういふことだ？」

「ぼくのブログにね、環境かんきょうのために捨てられるものをちがうものに生まれ変わらせる『アップサイクル・コネクション』プロジェクトを兄といっしょにやりまして、あの日のうちに書いておいたのさ。だから優先権はこっちなんだよね。先に発表したもの勝ちなんですよ、こういうのって」

「このクソガキ、ふざけるな！ オレたちはとづくに……」

丈が一步前に出るのを、王ちゃんがおさえた。

「残念ながら、そうはいきませんよ。稔くん。出るところに出て争えば、こちらが勝つはずですよ。セキュリティカメラにきみが映っているんだから」

「そうだぞ！ それに、ファイルだってちゃんとクラウドにバックアップがあるぞ。おまえが不正を働いた証拠があるしな」

「ちっ」

稔が舌を鳴らした。

「クラウドサーバーに保存してたのか。しまったな……。でも、あんたら、ビジネスでも始めるつもりだったんだろうけど、どうせ^{※1}商標登録とかしてないんですよ？」

三人は顔を見合わせた。^{※2}茜あかねさんとたつくんたつに頼んでおいたが、すぐに登録してもらえばよかった。

「ほーら、凶星だったみたいだね。小学生だって、商標登録ぐらい知ってるよ。ぼくが先にブログに書きちゃったから、商標は今さら登録できません。ん。ははは！」

いらだちではお染めた三人が立ちつくしていると、ムツツリしていた兄が、弟の腕を引っぱった。

「稔、だれがこんなことしてくれていったよ？」

「べつに。ただ、アニキの頭がわるすぎて、丈になんでも持っていかれて、くやしい思いをしているみたいだから、ぼくが^アを貸してあげたのさ」

「おまえに助けてくれなんて、いつてねえぞ」

「だってアニキはなんもできないじゃん。丈と紫月さんがずっと仲よしで、くやしがつてたじゃん。なにやっても丈のほうが上だつて怒つてたじゃん。だからアニキのためにやつてあげたのさ。セキュリティカメラとクラウドサーバーのことは、うっかりしてたよ。失敗失敗。今度はもっとうまくやるからさ。まあ、今回のぼくの目的は、こいつらのじゃまをするってだけだったから、まずまずの成功かな！」

清水が弟に向かってこぶしをふりあげ、それを止めようとした丈がドン、とはげしくドアにぶつかった。

「いつてえ……」

「丈！ 兄弟のことに首つっこむんじゃないよ！」

「暴力で解決するなら、いくらでもこのガキをなぐれよ。でもこいつの根性は、そんなもんじゃなならないと思うね」

「稔は……」

清水が言葉を切つて弟を見ると、稔はなぐられてもいないのに急に泣きそうな顔をして、「うるさい！ だまれ！」とさけぶと、家の奥に走っていった。

「稔には……いろいろ事情があんだよ」

返す言葉が見つからない三人がしばらくだまっていると、清水がぼそりといった。

「ブログはすぐに消させる。だから、稔を通報しないでくれ。たのむ」

丈は意外な展開に、Eうろたえていた。

まさか清水の弟がこんなことをしたとは。

一体、どうすればいいのだろう。

「まあ……相手は小学生だし、通報はしないよ。けどさ、稔くんのブログを見た人もいるだろうから、オレたち、今さら商標登録なんかできるのかな？」

丈が紫月や王ちゃんに聞いた。

「あたしにはわかんない」

「たぶん商標登録の審査で、引つかかると思いますね。いくら稔くんのブログを消しても、だれかがそれについてSNSでしゃべったり、拡散してるかもしれないですね。そうすると、たぶんもう登録できないはずだ
ど」

王ちゃんの冷静な答えを聞いて、F丈と紫月が大きなため息をついた。

「オレ……まさか稔が」

清水がうなだれている。

「しっかりしろよ。おまえアニキだろ？」

そういういつも、自分は妹をほったらかしにしているくせにえらそうだなと、丈は思った。

「……」

「あ、あと、わるかったな、おまえのこと疑っちゃった」

「えっ？」

清水が顔を上げた。

「おまえじゃなかったのにさ。オレ正直、なんの疑いもなくおまえだと思つてさ。ごめん。ま、差し引きゼロってことで」

「お、おう」

「じゃ、オレたち、帰るわ。行こーぜ」

紫月がうなずいて、ドアを押した。王ちゃんは、不服そうな表情のまま、出ていく。

丈がドアを閉める前にちらつとふりむくと、ゆっくり閉まっていくドアのすきまの向こうに、清水のうるんだ目が見えた。

ちえつ。泣くなよ清水！

Gなぜか罪悪感にかられている。被害者はこっちだというのに。

はあ。

大きなため息をつきながら、エレベーターに乗りこんだ。

沈黙の中で、古びたエレベーターのガタガタいう音だけがひびいている。

(注) ※本文中の漢字については、学習指導要領における小学校の配当以

外の難しい漢字にはふりがなをふっています。

※1 商標登録……商品やサービスにつける名前やロゴなどを特許庁

に登録し、それを独占的に使用できるようにする

こと。

※2 茜さんとたつくん……紫月の姉と、その恋人。

問一 ―線部A「人のデータを勝手に盗んどいてよくいうよな」とありますが、「データ」にはどのようなアイデアが入っていましたか。それが説明されている部分を本文中から五十字で抜き出し、初めと終わりの五字を答えなさい。

問二 ―線部B「丈が腕を組んでニヤニヤした」とありますが、なぜですか。最も適当なものを、次の1～4のうちから一つ選びなさい。

1 まだ小学生である「稔」に、警察を呼べるわけがないと思っているから。

2 警察を呼ばれたとしても、自分たちは罪に問われないと確信しているから。

3 「清水」を問いつめることに夢中になっており、冷静な判断ができていないから。

4 警察を呼んだとしても、都合が悪いのは「清水」の方だと思っているから。

問三 ―線部C「清水は眉間にしわをよせた」とありますが、このときの「清水」の気持ちを四十字以内で説明しなさい。

問四 ―線部D「三人は絶句状態」とありますが、この時の三人の気持ちとして最も適当なものを、次の1～4のうちから一つ選びなさい。

- 1 感動 2 不満 3 驚嘆 4 心配

問五 空らん ア にあてはまる語を漢字一字で答え、慣用表現を完成させなさい。

問六 ―線部E「うろたえていた」の意味として最も適当なものを、次の1～4のうちから一つ選びなさい。

1 わくわくして楽しみにすること。

2 どうしていいか分からなくなること。

3 落ち着いて考えをまとめること。

4 つまらなくてやる気がなくなること。

問七 ―線部F「丈と紫月が大きなため息をついた」とありますが、なぜですか。最も適当なものを、次の1～4のうちから一つ選びなさい。

1 データを盗んだのが「清水」ではなく、弟の「稔」であることが分かったから。

2 大事なデータを盗まれてしまい、二度と復元できないことが分かったから。

3 「稔」がデータを盗んだことを、兄の「清水」が知らなかったことが分かりたから。

4 「稔」がブログにアイデアを公開したことで、商標登録ができなくなったから。

問八 ―線部G「なぜか罪悪感にかられている。被害者はこっちだという

のに」とありますが、このように文章の流れを変え、効果を持つ表現を何といたしますか。最も適当なものを、次の1～4のうちから一つ選

- びなさい。
- 1 体言止め
 - 2 倒置法 とうちほう
 - 3 擬人法 ぎじんほう
 - 4 反復法

問九 この文章の表現の特徴として最も適当なものを、次の1～4のうち

から一つ選

- びなさい。
- 1 登場人物の会話を中心に描くことにより、リズムカルに物語が展開している。

- 2 季節感あふれる風景描写をおこなうことにより、登場人物の心情がいきいきと描かれている。

- 3 複数の視点で場面を描くことにより、登場人物の心情が読み取りやすくなっている。

- 4 比喩表現を多く用いた文体により、登場人物の心情を繊細に描いている。

三 次の―線部のカタカナを漢字で書きなさい。

- 1 ここは私語ケンキンです
- 2 イベントのキボを拡大する
- 3 海は今、カンチヨウの時間帯だ
- 4 バイオリンのキョウソウ曲を聞く

四 後の語群の中のひらがなを漢字に直し、類義語を作りなさい。ただし、

語群の中のひらがなは一度だけ使うこと。

- 1 方策↓手()
- 2 未来↓()来
- 3 役者↓()優

【語群】

かい	しょう	ほう	だん	じ
しゅう	はい	はん	やく	